

# イスターカーテン S(スリムタイプ) 扉

## 取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上で重要な内容です。施工にあたって必ずお守りください。

### ■工事店様へのお願い

扉梱包セットに同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください

## 目 次

□施工上の注意事項		P1
□取り付け手順		P2
1. 納まりガイドの取り付け(NR型のみ)		P3
2. 扉の吊込み		P3
■扉の構成		P3
■扉の吊込み準備		P3~4
■上枠のガイドレール取外し	直線の場合	P4
■上枠のガイドレール取り付け	直線の場合	P5
■上枠のガイドレール取外し	直線NRの場合	P6
■上枠のガイドレール取り付け	直線NRの場合	P7
■上枠のガイドレール取外し	曲線の場合	P8
■上枠のガイドレール取り付け	曲線の場合	P9
■扉の吊込み Aタイプ		P10
■扉の吊込み Bタイプ		P11
■扉の連結		P12
■フランス落しの調整(40型・CR型のみ)		P13
3. 落としボの取り付け		P14
4. 吊元ストッパーの調整		P15
■吊元ストッパーの調整ラベル		P15
■吊元ストッパーの位置		P15
■吊元ストッパーの取り付け		P16
□施工後の点検		P16

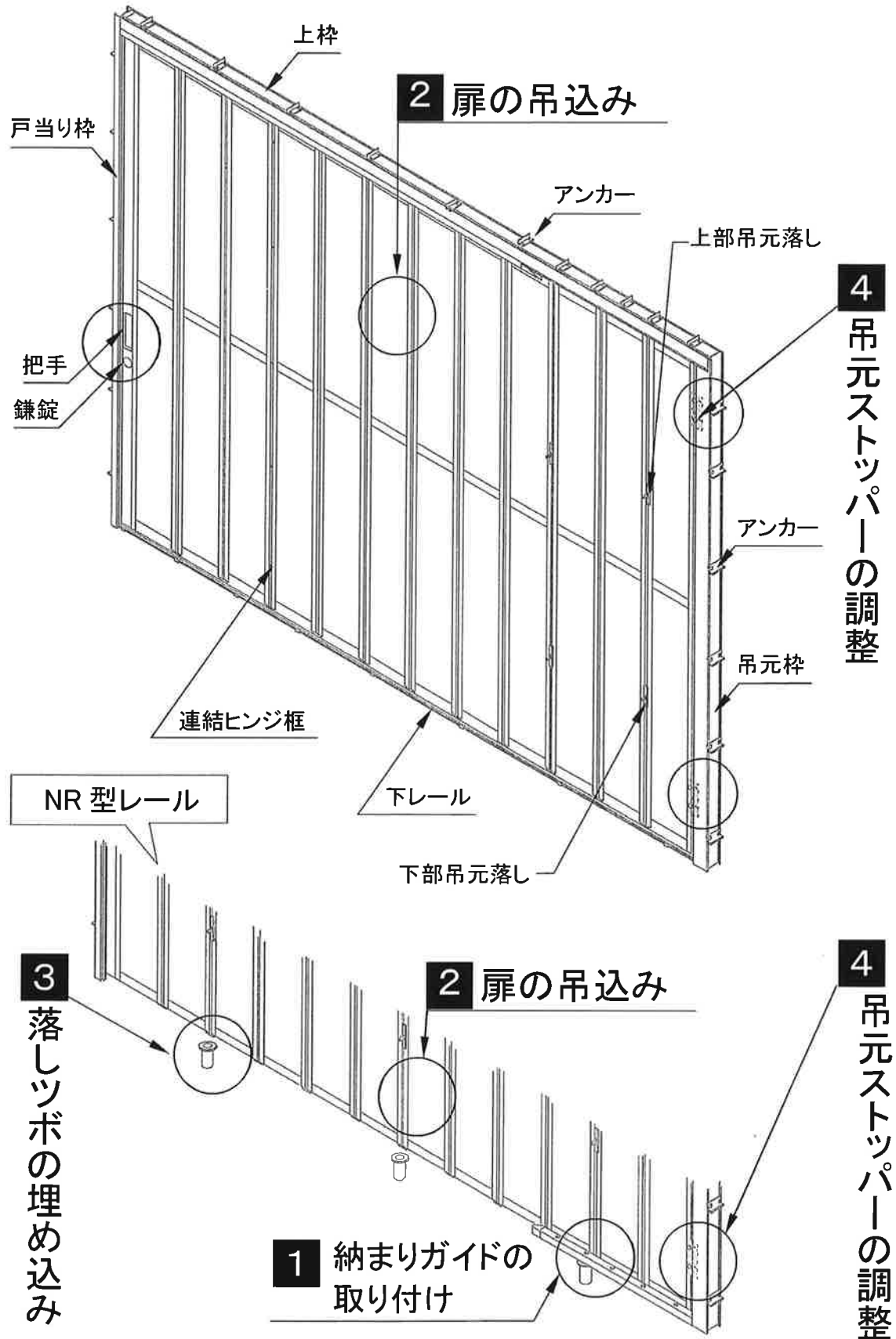
## 施工上の注意事項

- (1) 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- (2) ねじ止め箇所は、指示してあるねじすべて確実に止めてください。
- (3) 枠が躯体に納まるかどうか、躯体の開口幅・開口高を実測してください。
- (4) 枠の内法寸法を十分確認してください。
- (5) モルタル施工の際、モルタルにアルミ表面の腐食の原因になるものは用いないでください。
- (6) 施工時にアルミの表面に付着したモルタル等は、速やかに清掃するか、マスキング等をして施工してください。

# 取り付け手順

■施工は、下図の番号順におこなってください。

図はITS 35型レールで片引き・右勝手を示します。

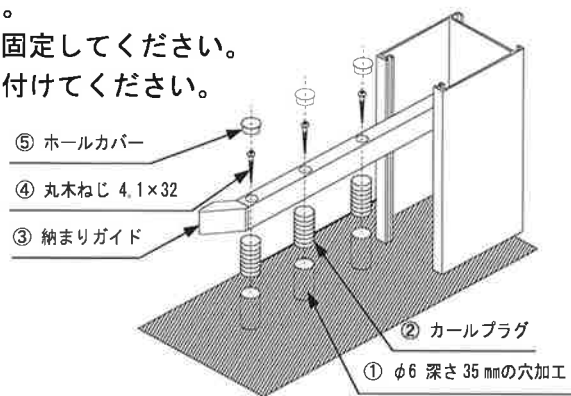
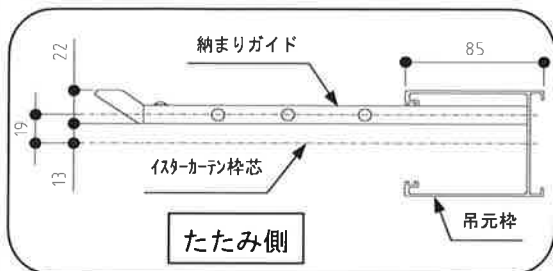


# 1 納まりガイドの取り付け（NR型レールのみ）

取り付け位置は、基準墨（イスターカーテン枠芯）より正確に位置出しをおこなってください。納まりガイドは本体下部をガイドする機能を持ちますから、ガタツキなどがないように確実に取り付けてください。

● 図①～⑤の順に正確に取り付けてください。

- ① 納まりガイドを下図記載の寸法にて取り付け穴加工位置を出し、φ6のキリにて土間に深さ35mm以上の穴を開けてください。
- ② 穴にカールプラグを差込んでください。
- ③ 納まりガイドを取り付け位置に設置してください。
- ④ (+)丸木ねじ φ4.1×32にて納まりガイドを固定してください。
- ⑤ 納まりガイドの穴加工位置にホールカバーを取り付けてください。



# 2 扉の吊込み

## ■扉の構成

扉は仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、扉の配置を確認してください。吊元枠に近い扉から吊込む仕様になっています。



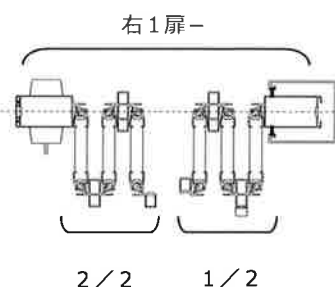
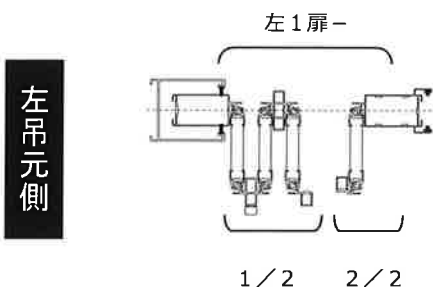
扉の吊元からの位置・順番

分割された扉の吊元からの位置・順番

※各勝手の吊元からの順番を示す

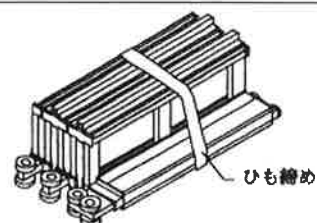
※各勝手の吊元からの順番を示す

【引分け2連(1+1連)の場合の表記例】



## ■扉の吊込み準備

- ・扉をたたみ、ひも等で仮締めしてください。
- 注意** 扉を傷つけないように注意してください



## ■上枠ガイドレール取り付け(直線NRの場合)

取り付け作業は、扉の吊込みをおこなってから、取り付け作業をおこなってください。

① ガイドプレートと裏板を取り付けている (+)小ねじ皿 M4×12 3本をゆるめます。

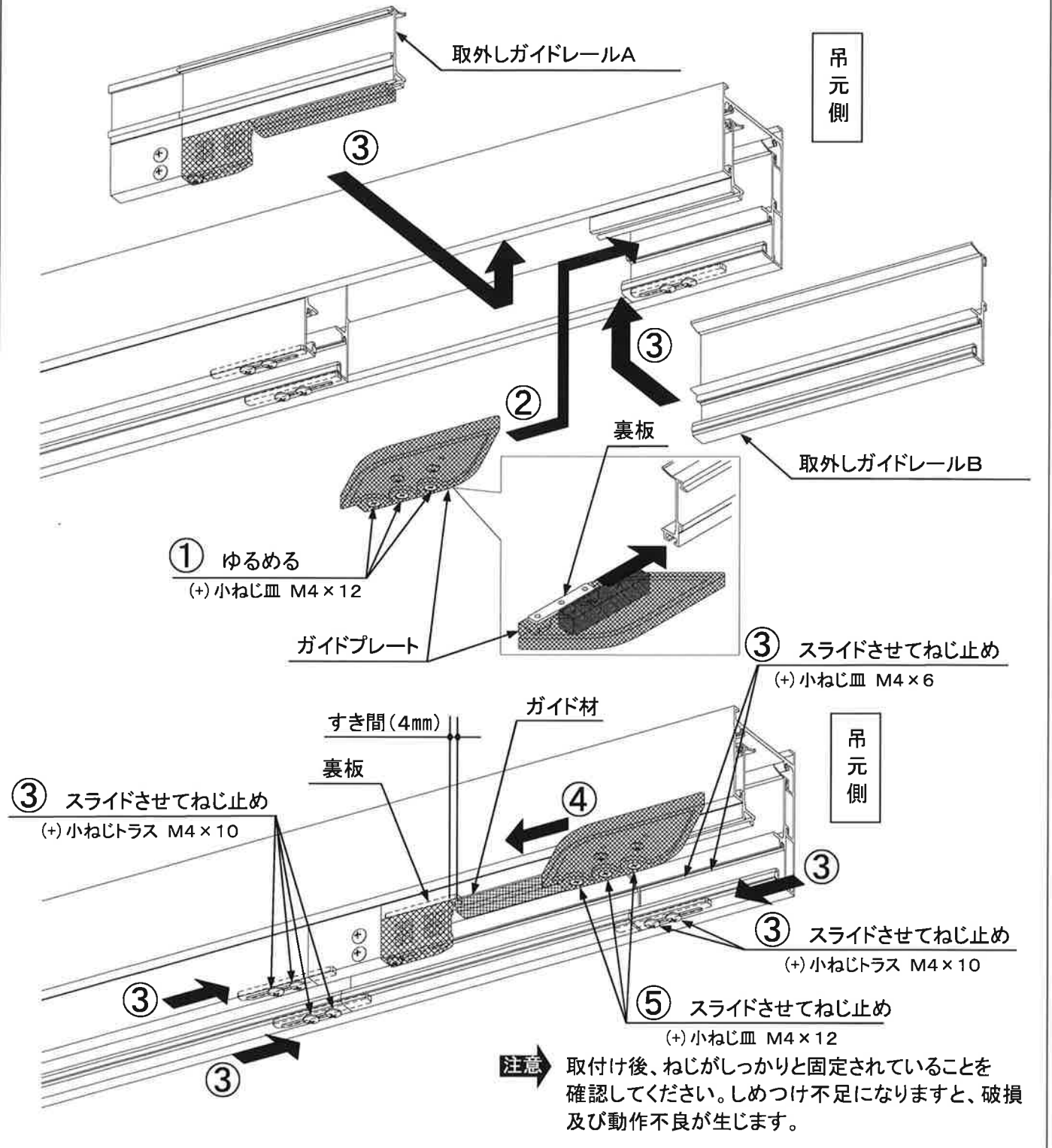
**注意** ガイドプレートは、附属部品箱に同梱されています。

② ガイドプレートに取り付けられている裏板部を吊元側のガイドレール部に挿入し、ガイドプレートが全て納まるまで、吊元側にスライドさせます。

③ 取外したガイドレールを取外し作業の逆の順番で取り付けます。

④ ガイド材をスライドコーナーに取り付けてある裏板部に当るまでスライドさせます。(この時、ガイド材とスライドコーナーのすき間は4mmできます。)

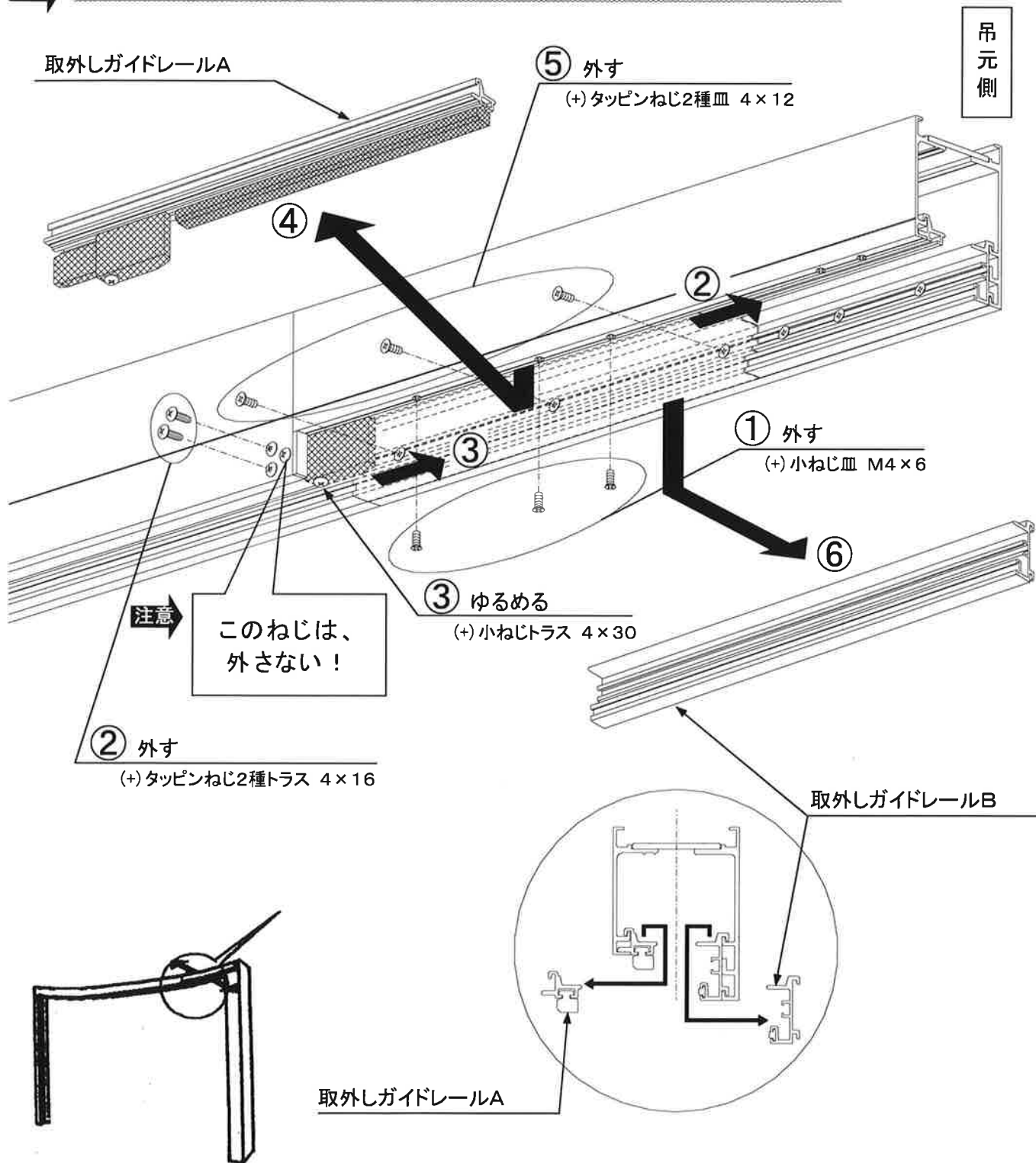
⑤ ガイドプレートをガイド材に当るまでスライドさせ、(+ )小ねじ皿 M4×12 3本にてねじ止めしガイドプレートを固定します。



## ■上枠ガイドレール取外し(曲線の場合)

- ① 取外しガイドレール部取り付け用の (+) 小ねじ皿 M4×6 3本を取外します。
- ② スライドコーナーを取り付けている、正面の (+) タッピンねじ2種トラス 4×16 2本を取外します。  
**注意** (スライドコーナー側の (+) タッピンねじ2種トラス 4×8 は外さないください。)
- ③ スライドコーナーを取り付けている、下方向からの (+) 小ねじトラス M4×30 1本をゆるめて、ガイド材の方向に30mmほどスライドさせます。
- ④ 取外しガイドレールAを取外します。
- ⑤ もう一方の取外しガイドレールBを取り付けている (+) タッピンねじ2種皿 4×12 3本を取外します。
- ⑥ 取外しガイドレールBを取外します。

**注意** 上記作業にて取外したねじは、再び使用するのので、紛失しないように注意してください。



## ■上枠ガイドレール取り付け(曲線の場合)

取り付け作業は、扉の吊込みをおこなってから、取り付け作業をおこなってください。

① ガイドプレートと裏板を取り付けている (+)小ねじ皿 M4×12 3本をゆるめます。

**注意** ガイドプレートは、附属部品箱に同梱されています。

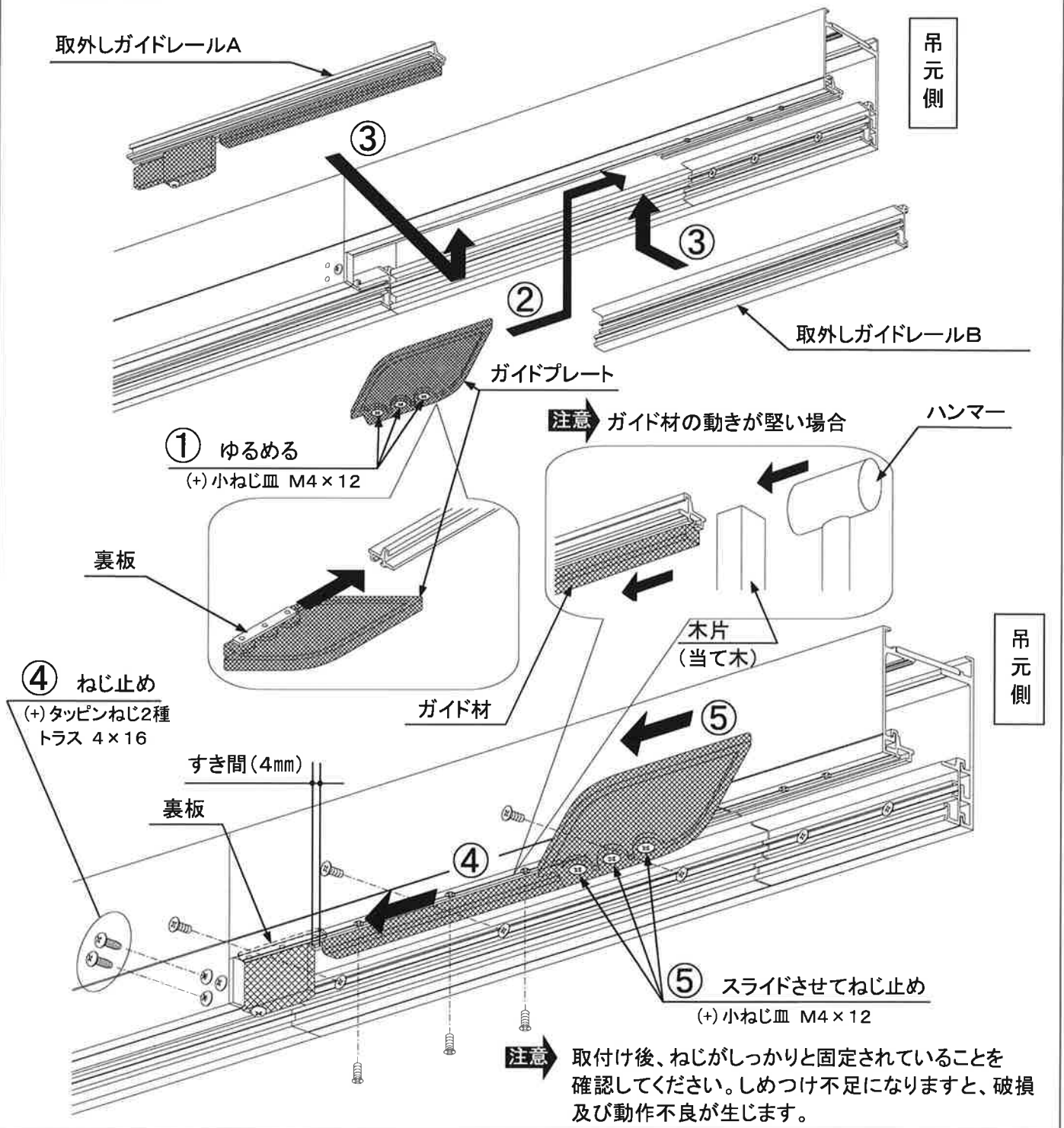
② ガイドプレートに取り付けられている裏板部を吊元側のガイドレール部に挿入し、ガイドプレートが全て納まるまで、吊元側にスライドさせます。

③ 取外しガイドレールを取外し作業の逆の順番で取り付けます。

④ スライドコーナーを (+)タッピンねじ2種トラス 4×16 2本にて取り付けした後、ガイド材をスライドコーナーに取り付けてある裏板部に当るまでスライドさせます。(この時、ガイド材とスライドコーナーのすき間は4mmできます。)

**注意** ガイド材をスライドさせる際に、動きが非常に堅い場合があるので、ガイド材を傷つけないように木片などで当て木をし、ハンマーなどでたたき、スライドさせてください。

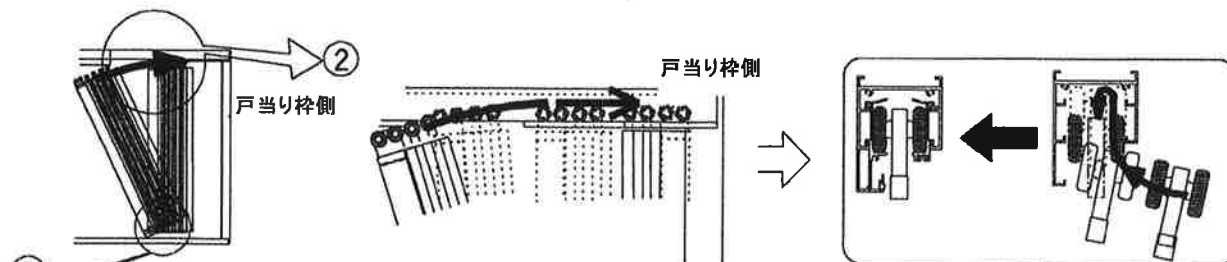
⑤ ガイドプレートをガイド材に当るまでスライドさせ、ガイドプレート固定の (+)小ねじ皿 M4×12 3本にてねじ止めします。



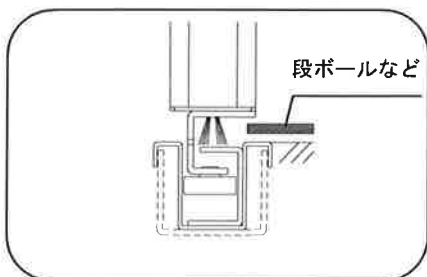
## ■扉の吊込みAタイプ

<注意> Hが2000以下の場合、扉の吊込み手順が吊込みBタイプ（P11参照）になる場合があります。

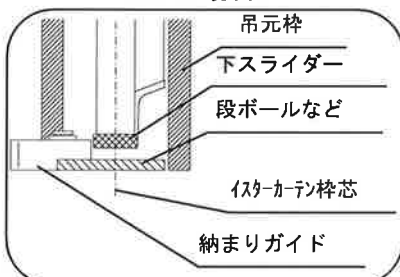
- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。
- ②図の様に上枠の扉取り付け位置に斜めにセットし、下部ローラーを下部レールの溝にはめ込み  
図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように扉を起こして吊込んでください。
- ③扉をすべて吊元側へ送り込んでください。



<35・35D・40・CRの場合>

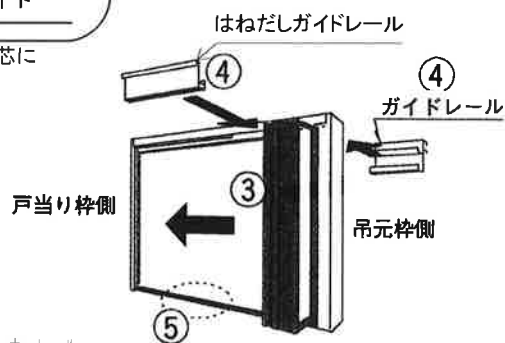


<NRの場合>



下スライダーをイスターカーテン枠芯に納めてください

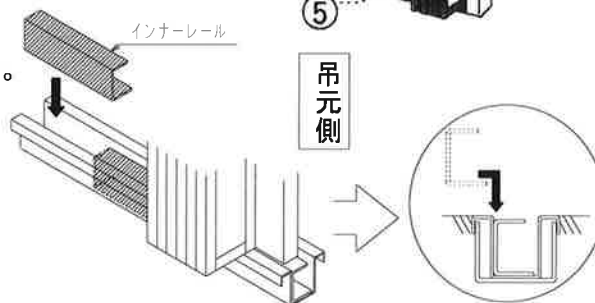
- ④先に取外したガイドレールを取り付けてください。



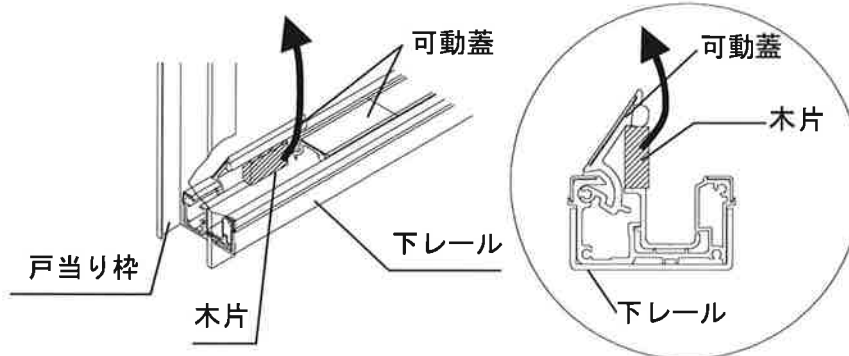
- ⑤下レールについては下記を参照してください。

<35・35D型レールの場合>

取外したインナーレールをセットしてください。  
吊元側のインナーレールから順番にセットしてください。



<CR型レールの場合>  
木片を外してください。

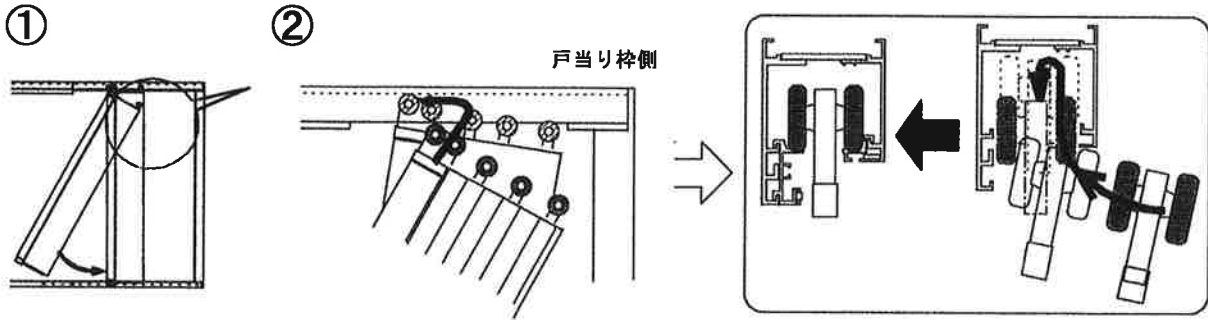


注意

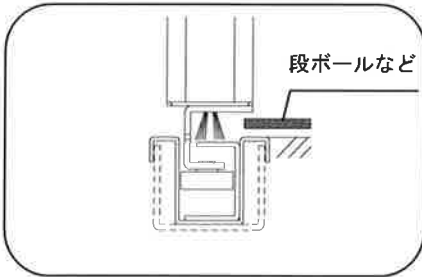
引分けの場合は、左右の扉をそれぞれ吊元側より吊込んでください。

■扉の吊込みBタイプ（曲線タイプのR納まりでR<2500の場合）

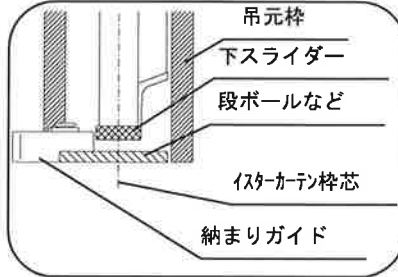
- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。
- ②図の様に上枠の扉取り付け位置に斜めにセットし、図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように扉を起こし下部ローラーを下レールの溝にはめ込み吊込んでください。
- ③扉をすべて吊元側へ送り込んでください。



<35・35D・40・CRの場合>

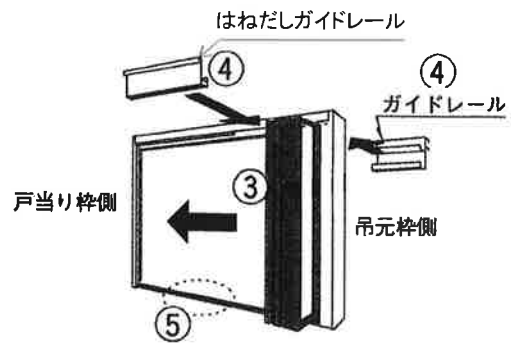


<NRの場合>



下スライダーをイスターカーテン枠芯に納めてください

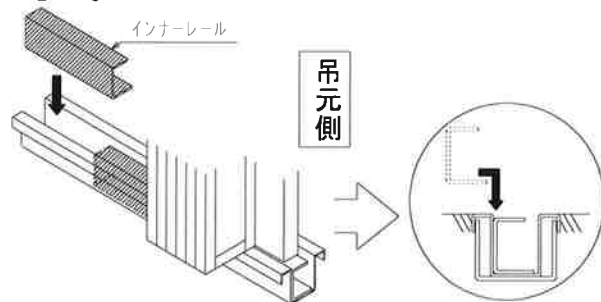
- ④先に取外したガイドレールを取り付けてください。



- ⑤下レールについては下記を参照してください。

<35型レールの場合>

先に取外した下部インナーレールをセットしてください。  
吊元側の下部インナーレールから順番にセットしてください。



注意

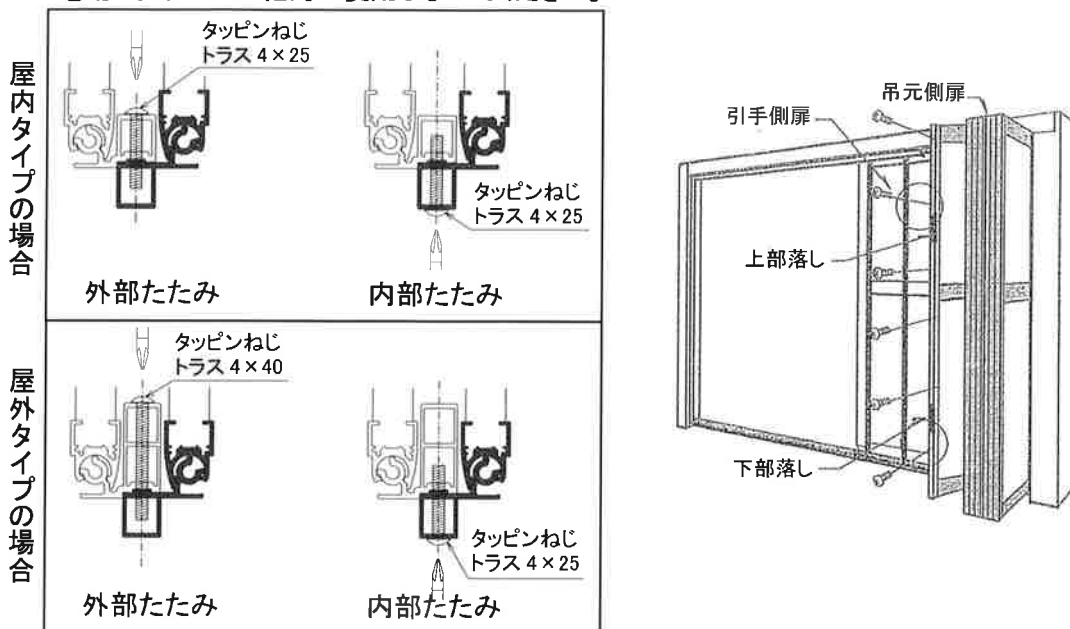
引分けの場合は、左右の扉をそれぞれ吊元側より吊込んでください。



# 扉の連結

## 注意

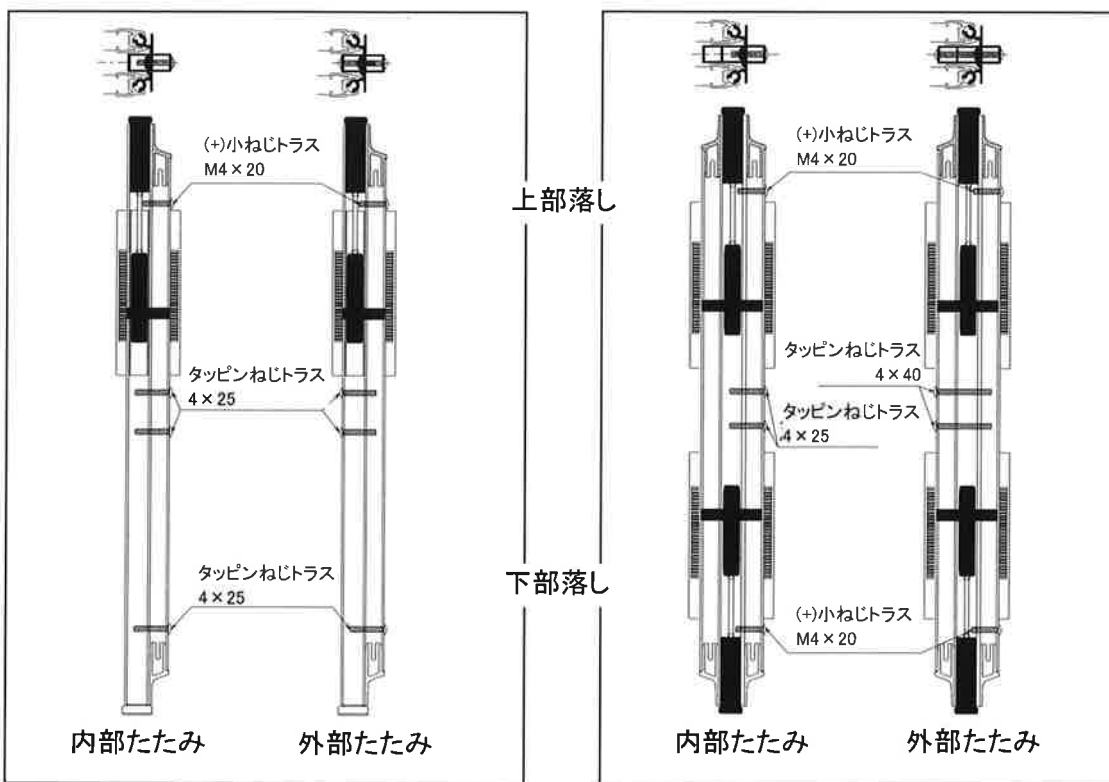
- 連結の際には、吊元側扉と引手側扉のジョイント部が下図のように、組み合っていることを確認してください。
- 扉連結は、必ず手回しドライバーを使用してジョイントしてください。  
電動ドライバーは絶対に使用しないでください。



扉の連結は、内部たたみ・外部たたみ・吊元落しが付く場合で連結が異なりますので注意してください。

屋内タイプの場合

屋外タイプの場合



## 注意

[内部たたみの場合]

吊元下部落しは、テープにて上側寄りに固定してあります。  
連結ヒンジ框を連結した後からテープをはがしてください。

[下部落しがつくのは、40型レールの場合のみです。]

## ■ フランス落しの調整（40型・CR型のみ）

扉をたたんだ状態にし、フランス落しを落してください。

この状態で、フランス落としとストッパーのかかりを確認してください。

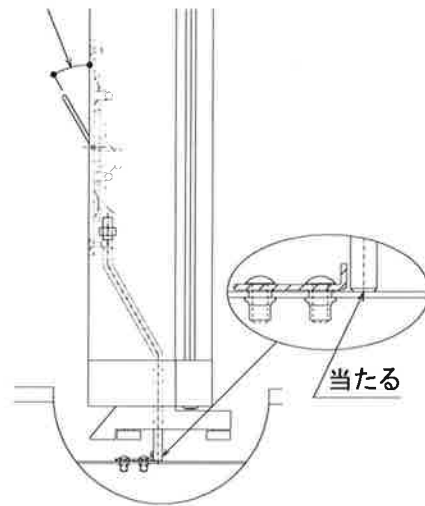
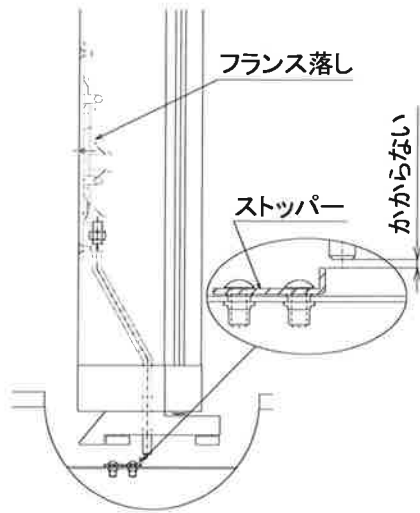
下記（Ⅰ）・（Ⅱ）の状態のときは、以下①～③の手順でフランス落としの調整をしてください。

（Ⅰ）フランス落としがストッパーにかからない。

（Ⅱ）フランス落としの先端が下レール底面に当たり、正常に落せない場合。

（Ⅰ）

（Ⅱ）きちんと閉まらない



①皿ネジを外しフランス落しを本体から取り外してください。

※フランス落しを落した状態では外れにくいので  
フランス落しをあげて外してください。

②六角ナットをゆるめ、フランス落とし棒を回転させて出量を

調整してください。調整した後は、必ず六角ナットを

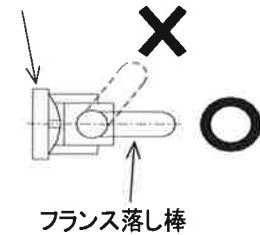
締めてください。この際、図Aに示すように、フランス落とし本体と  
フランス落とし棒は、水平になるように取り付けてください。

③フランス落としを本体に取り付け、フランス落としとストッパーの

かかりを確認してください。扉を操作してストッパーにフランス落としが

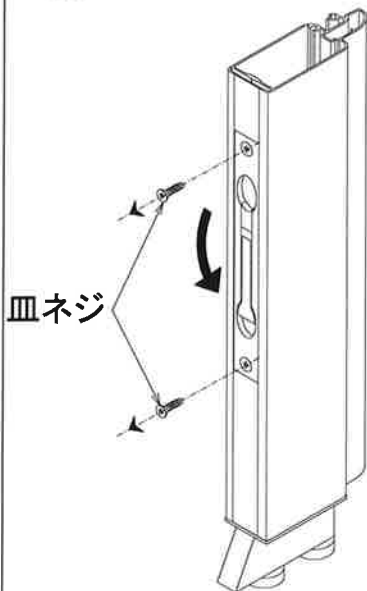
しっかりかかるようフランス落としを調整してください。

フランス落とし本体

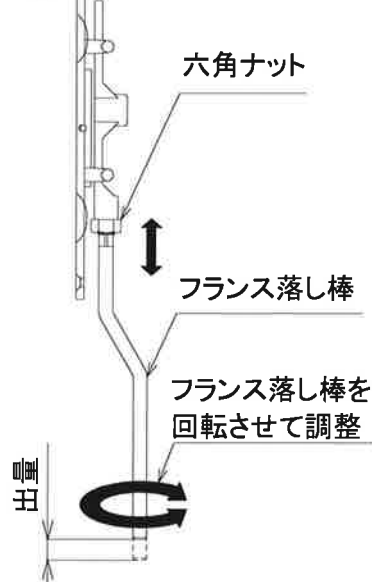


図A

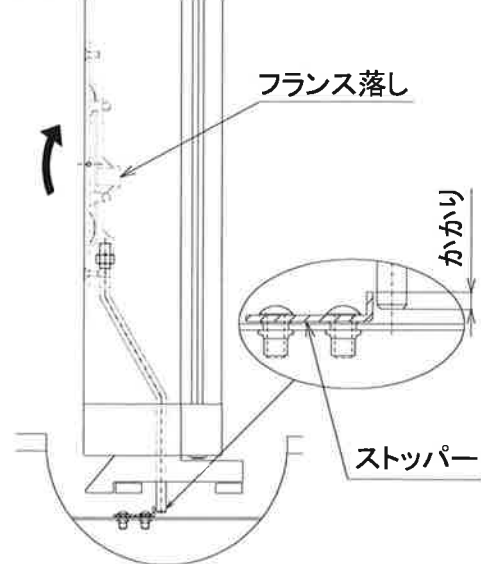
①



②

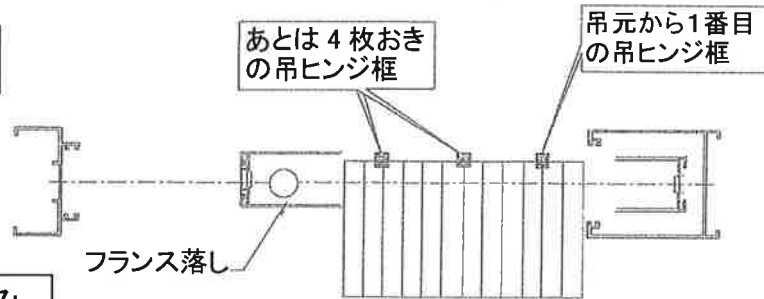


③



### 3 落としツボの取り付け (NR 型レールのみ)

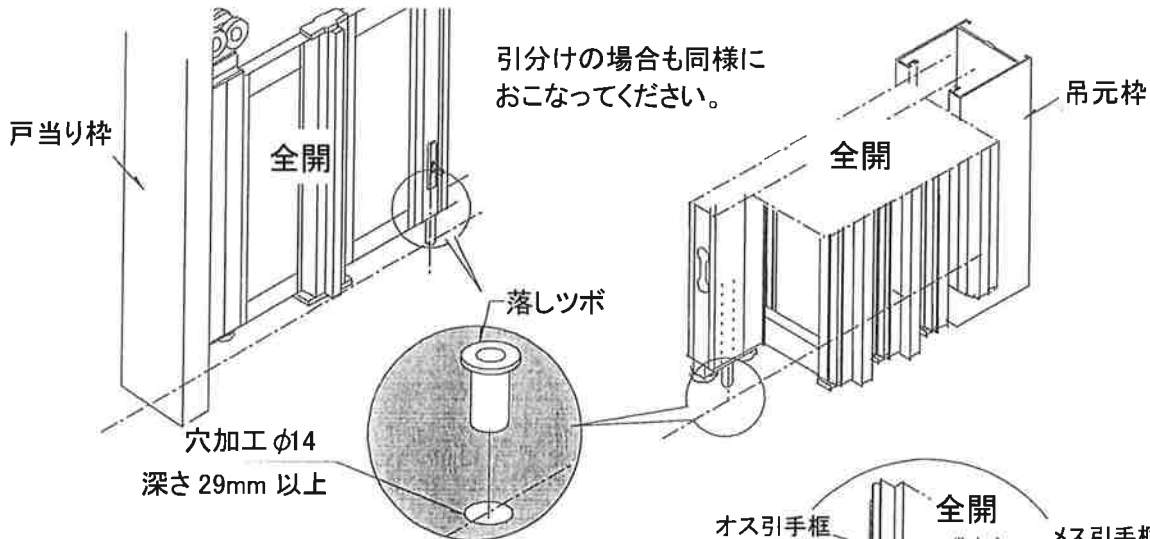
#### 下部落し棒の位置



#### 落としツボの埋め込み

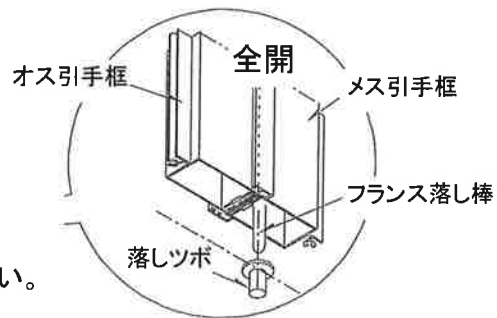
○扉を全開し、吊ヒンジ框の下部落し棒とイスターカーテン枠芯の交点を出してください。落としツボ位置にφ14×29以上の穴加工し、落としツボを埋め込んでください。

○扉をたたみ、引手框のフランス落し棒とイスターカーテン枠芯の交点を出してください。落としツボ位置にφ14×29以上の穴加工し、落としツボを埋め込んでください。



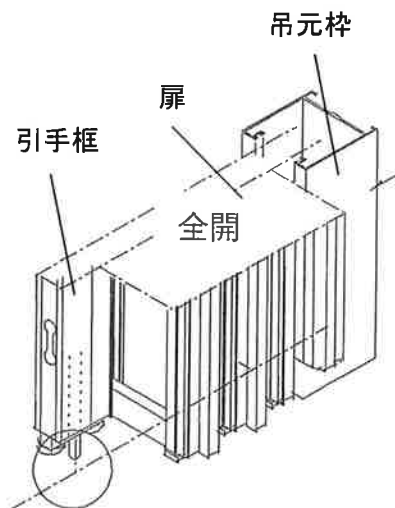
#### ○引分けの場合落としツボ追加

扉を全閉しメス側の引手框のフランス落し棒とイスターカーテン枠芯の交点を出してください。上記同様に穴加工し、落としツボを埋め込んでください。



#### 傾きに注意

交点をだす際に、扉をたたみ方向に押えると、フランス落しを施錠した際に、本体が傾くおそれがあります。完全に折りたたみ手を離した状態でフランス落し棒の芯とイスターカーテン枠芯の交点を出してください。



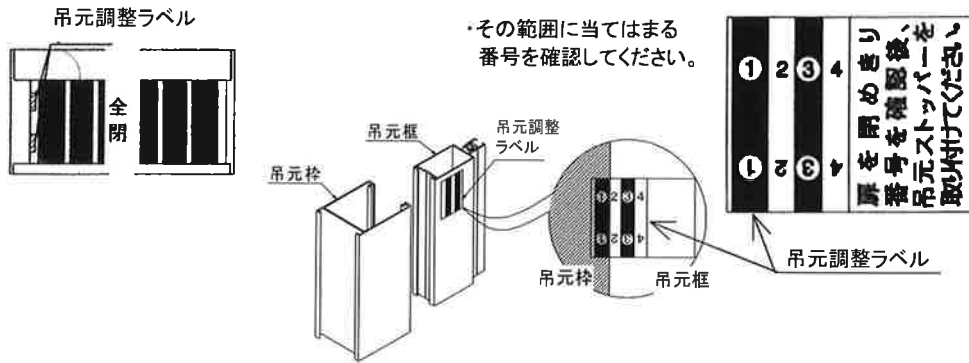
# 4 吊元ストッパーの調整

## ■吊元ストッパーの調整ラベル

パネルの吊込み、連結ヒンジ框の取り付け後に全閉状態にしてください。

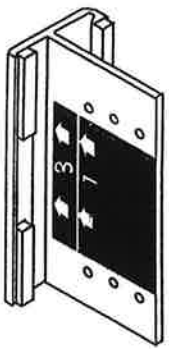
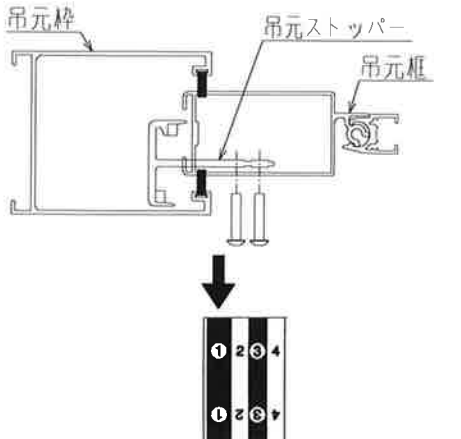
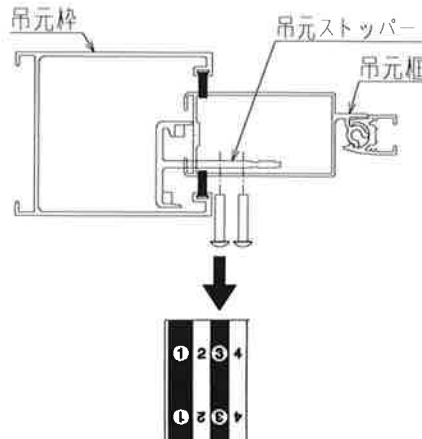
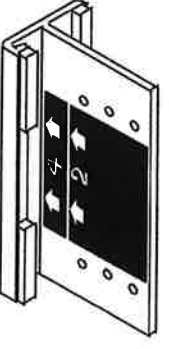
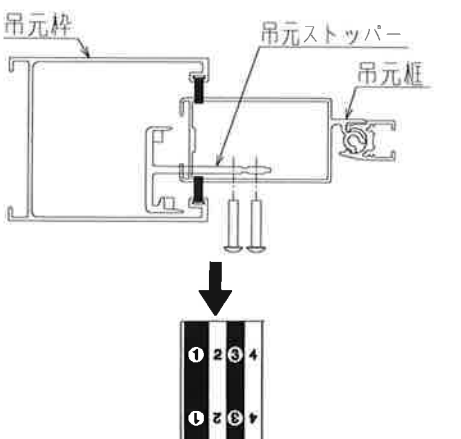
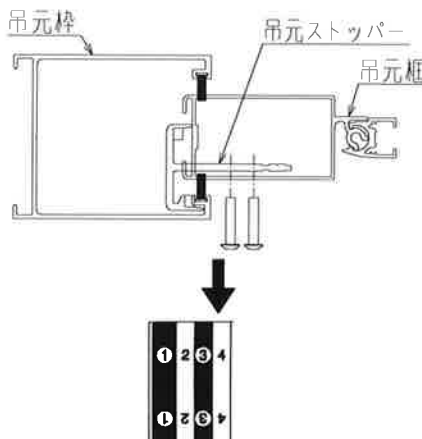
全閉時の吊元枠と吊元枠の重なり位置を、上下に貼付けてある吊元調整ラベルにて確認してください。

その範囲の番号によって、吊元ストッパーの取り付け位置を決定してください。



## ■吊元ストッパーの位置

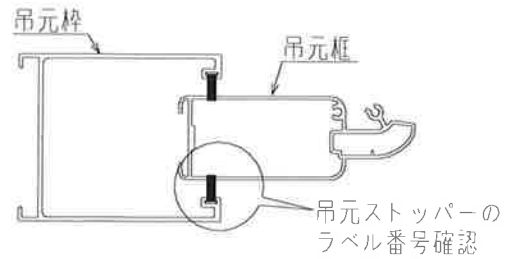
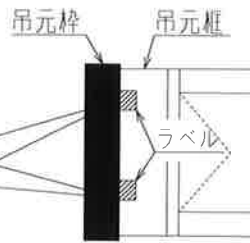
吊元ストッパーの取り付け面に注意してください。

<p>吊元調整ラベルが1, 3の場合</p> 	<p>[ラベル番号1の設定]</p> 	<p>[ラベル番号3の設定]</p> 
<p>吊元調整ラベルが2, 4の場合</p> 	<p>[ラベル番号2の設定]</p> 	<p>[ラベル番号4の設定]</p> 

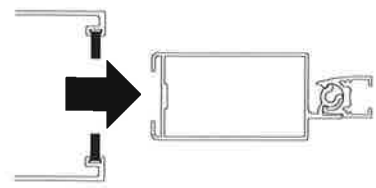
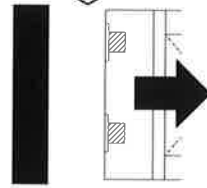
## ■吊元ストッパーの取り付け

- ①上図を参照して上下とも吊元ストッパーの番号設定位置を確認してください。

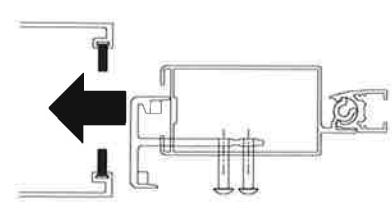
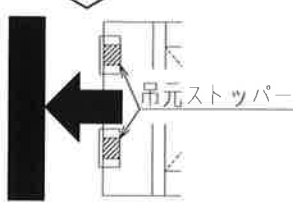
上下とも吊元ストッパーのラベル番号の確認を行ってください。上と下で番号が違ふ場合があります。



- ②一度吊元枠より吊元枠を外してください。



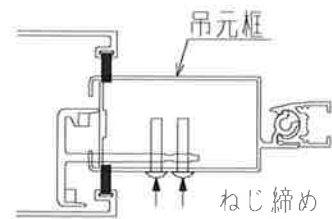
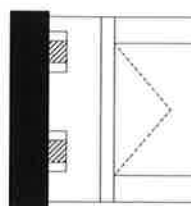
- ③吊元ストッパーを仮止めしてください。再度吊元枠に入れてください。



仮止めしてください。

**注意** ねじを締めすぎると吊元枠に吊元ストッパーが入り難くなります。

- ④仮止めされた吊元ストッパーのねじを締めてください。



- ⑤最後に吊元調整ラベルをはがしてください。

## 施工後の点検

取り付け作業をしたねじ類の、締め具合を確認してください。

本体および下レールについているモルタル等は完全に拭き取ってください。

扉の開閉テストをして、軽快さを確認してください。

錠のかかり具合を調整のうえ、お施主様にカギをお渡しください。

落としが完全にかかるか確認してください。

扉が完全に折りたたむか、確認してください。

ネジ止め禁止ラベルおよび吊元調整ラベルをはがしてください。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100  
TEL (0778) 62-1122

'21. 3